

二〇一四年 八月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

念ずれば花ひらく

坂村真民

非常に味わい深い言葉だと思います。『広辞苑』には、「念ずる」という言葉の意味の一つに、「常に心にとめて思う」と記されています。この意味で理解すると、何かを成し遂げるためには、強い気持ちを持ち続けることが必要だと捉えることが出来ます。

ニューヨークヤンキースのイチロー選手は、一流のプロ野球選手になることが自分の夢だと小学生の時、作文に書きました。その夢のために小さい頃からほとんど毎日、厳しい練習に明け暮れたそうです。そして、日々これだけ練習を頑張っているの、必ずプロ野球選手になれるだろうということもそこに書かれてあります。強い気持ちは、実際の行動につながってくるように感じます。初心を忘れることなく、あなたの花を開花出来るように、日々精進していきましょう。

今月の聖語

怠りなまけて、気力もなく百年生きるよりは、

堅固につとめ励んで一日生きる方が優れている。

『ダンマパダ』

『ダンマパダ』とは、釈尊の教えを集めたもので、人間そのものへの深い反省や生活の指針を短い句によって示したものです。

釈尊は怠けて無気力に百年生きるよりは、一生懸命生きる一日の方が優れていると説きます。私たちの日々を振り返ると、つい怠けてしまうことや楽なほうに逃げてしまうこと、気持ちが入らないことなど、反省すべき点が何かしらあるのではないのでしょうか。勉強やクラブ活動の練習など、その日を有意義な充実した一日に出来るかどうかは自分次第です。

「今日も頑張ったなあ」と、疲れたなかにも満足感を味わうことが出来る一日を積み重ねていきたいですね。日々の過ごし方を振り返ってみましょう。